

小規模離島における定住人口確保と農業再編戦略

家坂正光 (沖縄県農業試験場)

Masamitsu IESAKA : Reorganization Strategy of Agricultural Production and Population for the Small Island

はじめに

離島の産業構造は脆弱で、過疎化の進展に集中的に表現されるように、長期的にみると地域社会の存立すら危ぶまれるような事態に立ち至りつつある。よって、地域を守り発展させることが様々な施策を貫く中心原理でなければならず、そのためには地域社会にとって必要な定住人口と年齢構成を数値目標として明確化することから始めねばならないと考える。そして、それを踏まえて産業別就業人口目標値を設定すれば、農業施策も含めて各産業別振興施策が整合性を持って具体化されであろう。

このような観点から、沖縄県の北部に位置する伊平屋村を取り上げ、事例的な検討を行った。

1. 分析データおよび方法

国勢調査を利用し、過去15年間の推移から5歳刻みごとの平均的なコーホート変化率(5年後人口変化率)を求めて、現状のまま推移すると仮定した場合の現状前提(人口減少)モデルを作成した。次に、人口を維持するため必要となるUターン年齢層のコーホート変化率を修正して人口維持モデルを作成するとともに、男女比改善による人口増加モデルも作成した。その上で、各モデルに基づき総人口と児童数の将来予測値を算出した。

次に、人口増加モデルに基づいて就業人口を推定し、これを1985年の年齢別就業人口と対比して追加就業対策が必要となる人口を求め、うち6割を農業で吸収するとの前提で、農業就業人口目標値を設定した。この農業就業人口目標値を確保するため必要となる農業粗生産額を作物別に推計し、今後の農業再編戦略を検討した。

2. 結果および考察

1) 伊平屋村の人口は1970年を起点にすると1990年までに約35%減少したが、14歳以下の児童数は同期間に65%も減少した。これは母親世代の減少と母親1人当たり出生数の減少による相乗作用である。

2) これまでの人口変動パターンが今後も継続すると仮定した現状前提モデルによる人口予測結果では、ここ15年ほど比較的安定していた人口は、2000年以降再び減少に転じる見通しとなる。その引き金は、第二次ベビーブーム世代が中卒後に他出することで、2005年にかけて人口減少のテンポが強まる。児童数も1990年の358人に対し2010年には200人程度と大きく減少し、65歳以上の高齢者割合も1990年の約20%水準から2030年にはピーク水準の35%に達するものと予測される。

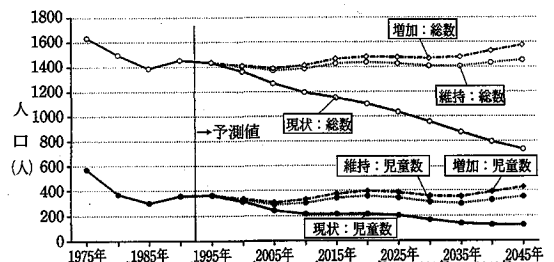
3) 人口を維持するには、Uターン率を高めることが必要で、それを推計した結果、Uターンによる残存率(同一出生世代の10~14歳人口を起点にした30~34歳人

口比率)を現状の41%から71%まで上昇させることが必要であり、それが達成できれば児童数も300~350人で推移することになる。

4) 人口を増加させるには、Uターン増による残存率の向上と併せて、25~34歳女性比を50%まで改善することが必要となり、人口増加モデルに基づく予測結果では、2050年の総人口は1,600人、児童数は440人となる。

5) 人口増加モデルに基づき、20~59歳男性の就業率を100%として男性就業人口目標値を設定した結果、男性世帯主年齢(30~59歳)の就業人口目標値は、ほぼ1985年時点と等しくなることが分かった。これは、1985年には昭和一桁層が50歳代、戦後ベビーブーム世代も30歳代前半と労働力的に充実していたことによる。この就業人口目標値のうちどれだけを農業就業人口とするかは、地域で決定すべきことではあるが、ここでは1985年国勢調査の30~59歳男性農業就業人口に、追加で就業対策を講じる必要のある人口の6割を加えて合計91人とし、農業本業農家数を91戸と推計した。

6) 91戸の農業本業農家が350万円の農業所得を確保するため必要となる農業粗生産額を、総合所得率を用いて推計した結果、村全体としては約7億円となった。現在の農業粗生産額が約3~4億円程度であることから、かなりの拡大が必要となる。減少しているサトウキビ生産の回復可能性も考慮して部門別粗生産額目標値を推計した結果、農業再編戦略として以下の5点が重要になる。①サトウキビと水稲作の振興だけでは限界がある。②集約的な園芸品目の導入・定着こそ戦略的課題とすべきである。③農地面積の限界から粗放型大規模経営より集約型複合経営の育成が重要である。④畜産振興も重視して域内での地力維持体系を確立する必要がある。⑤女性の就業対策に特別な力を注ぐ必要があり、農産加工業等のさらなる振興が必要である。



第1図 伊平屋村の将来人口予測結果(総人口と児童数)